



自由民主党

内閣総理大臣補佐官 いたう たつや

# 伊藤達也

元金融担当大臣／衆議院議員／松下政経塾出身

VOICENETmini  
2008年6月11日号

発行所  
フォーラムフロンティア  
(伊藤達也連合後援会)  
〒182-0024  
調布市布田1-3-1  
ダイヤビル2F  
TEL 042-499-0501  
FAX 042-481-5992

## 高齢者を支える仕組みを再構築する

総理補佐官として社会保障国民会議を担当し、安心して暮らせる持続可能な社会保障制度のグランドデザインを描くための検討を、精力的に進めているところです。

急速な少子高齢化が進展する中で、高齢者の生活をサポートする仕組みの充実は、大変重要な課題です。

介護の現場に従事する方々が、様々な課題に直面していることは承知しています。先日も、都内のグループホームにお伺いし、生のご意見を伺いましたが、介護の現場における、「人材確保の難しさ」、「医療との連携の強化」、「街づくりの視点の重要性」など、現在抱える課題の複雑さと早急な対応の必要性を改めて認識しました。

総理からも、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、医療・介護の壁を超えたサポート体制を構築するよう、ご指示を受けているところです。

高齢者の生活サポートに当たる方々が、やりがいを持って取り組める環境づくりを進めるにはどうすればよいのか、そして、それを支えるサポート体制はいかにあるべきか、医療と介護の連携、地域コミュニティの再構築を含め、高齢者に優しい街づくりという観点から、考えなければならないと思います。



内閣総理大臣補佐官 伊藤 達也  
衆議院議員

### 伊藤達也プロフィール

1961年	7月6日生まれ O型 46歳	2002年	内閣府副大臣(金融担当)
1980年	調布市立第一小学校、調布中学校を経て 慶応義塾高等学校卒業	2003年	内閣府副大臣(金融・経済財政政策担当)
1984年	慶応義塾大学法学部法律学科卒業	2004年	金融担当大臣
"	(財)松下政経塾入塾(第5期生)	その後	自由民主党政調会長補佐、幹事長補佐 対外経済協力特別委員長、地域再生調査会長 u-Japan特命委員会幹事長
1987年	カリフォルニア州立大学大学院行政学部客員研究員		衆議院決算行政監視委員会筆頭理事、 財務金融委員長、予算委員会理事 等
1993年	衆議院議員(以来、連続5回当選)	現在	内閣総理大臣補佐官(社会保障担当) 松下政経塾評議員
2000年	通商産業政務次官		
2001年～	衆議院環境委員会理事、経済産業委員会筆頭理事 自由民主党経済産業部会長 等		

政策提言する「達也の直球勝負」  
ほとんど毎日更新中「伊藤達也ブログ」など内容充実！

伊藤達也

検索

<http://www.tatsuyaito.com>

伊藤達也事務所: 〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F TEL 042-499-0501 FAX 042-481-5992

# 介護ケア施設を視察



・「通い(デイサービス)」、「泊まり(ショートステイ)」など、高齢者認知症対応も含めた介護ケアを総合的に提供する施設として、「まちづくり」を念頭に置いた生活支援を行っている「グループホーム方南」(杉並区)を視察しました。

・現場では、浴場や居室を見せて頂くとともに、高齢者の方々がスタッフの支援を得ながら、食事を共同で自炊する様子などを視察させていただきました。スタッフの方々が献身的に高齢者の方々に接していらっしゃる事、スタッフの方々の支援を得ながら高齢者の方々が一つ一つ「できること」を積み重ねて、日常生活を営む力を回復されている様子でした。

・高齢者のサポートは「生活支援」。そのためには、医療・介護・地域・街、これらの仕組みを分断させないことがきわめて重要とおっしゃる マネージャーの方の言葉が心に残りました。

## 戦後世代の高齢者の増加と高齢者像の変化

参考2

- 戦後のベビーブーム世代(「団塊の世代」)が2015年には65歳以上に到達し、2025年には75歳以上高齢者に到達。
- 高齢者の生活状況、意識・価値観が一層多様化することを踏まえ、多様な高齢者のニーズに応え得る医療・介護・福祉サービスの構築が求められる。

